



それから二十六年たってまた妹が入院したのです。最初の一年間は出さなかったのですが、妹が「夢に

兄さんに会います！」という手紙をよこすものですから「ようし、もういつぺん！」と思い、今度は病人ですから私の用事をしてもらうこともないので、一枚々々、中根武子という四字を模様を変えて裏に書いて毎日々々、出し続けたのです。そして亡くなるまで昭和五十三年四月十日・・五千九百八十九枚目を出したのです。亡くなった後は仕方がないものですから、今度は亡くなった両親を始め、兄弟、友人、世話になった先生方のご冥福を祈るため、観音経とか、般若心経を一字ずつ、毎日一字ずつ、お経の文句の中の一字々に模様を変えた図案を入れ、毎日続けているのですが、それが今、今日のは一万四百十四枚目（平成二年五月二十一日）になっているのです。二十